



上壁 充

勿来町窪田町通1丁目54

携帯電話 090-3983-3378

自宅電話 84-8600

FAX 84-8601



狩野光昭

いわき市石森2丁目2-11

携帯電話 090-7564-3253

自宅電話・FAX 23-3538

E-mail karino@karino-m.jp

H P http://karino-m.jp

平成25年度予算要望 73項目をいわき市へ要請

11月5日創世会（6人）はいわき市長に「平成25年度予算要望書」を提出しました。

予算要望書の作成に当たっては、商工・農林漁業・労働・建設・医療・福祉・教育・スポーツ・行政区の23団体から73項目について要望を集約しました。具体的には1. 被災者の生活再建 2. 医療・福祉・教育の充実 3. 生活環境の整備・充実 4. 社会基盤の再生・強化 5. 経済・産業の再生・創造 6. 復興の推進の項目にまとめ、復興のスピードアップ、除染の徹底や大人も含めた健康管理体制の確立等を要請しました。

いわき市長からは「平成25年度は本格的な復興の年であり、復興ビジョンに基づき対処していく。創世会の要望については承知しており『ふるさと・いわき21プラン実施計画』に基づき対応していきたい」との回答がえられました。

いわき市では来年度予算の策定に入っておりますので、各団体においては予算要望を行うことが重要となっています。



予算要望書をいわき市長に提出

脱原発福島県民集会

日時：11月25日(日)

10:00~12:30

会場：小名浜市民会館

生きていけば すばらしい出会いが

ひと・山・川・海・雲・風・雨・木・草花・空気

11月3日「あさのあつこさん講演会」（主催：いわき総合図書館）・4日「吉野せい賞記念講演会：柳田邦男『いのちの危機と言葉の力』（主催：いわき市教育委員会）に参加しました。

あさのあつこさんは「表現することは、自分が何者かを知り、過去・現在・未来に何に責任を持って生きていかなければならぬかをわからせてくれる」とし、柳田さんは「人間は、表現することで自分を客観的に見直すことができ、生きる力となる」とし、危機的な状況や生きづらい現代社会において言葉の力、文学の可能性を訴えています。また、精神の世界にも生きる人間は、まわりの人々や自然に感動することが生きる励みになっていると訴えていました。

フランクルの『夜と霧』を思い出しました。ナチス収容所の過酷な環境の中でも、一瞬一瞬を大切に、生きる希望を失わなかったことが生き続けられた原動力となりました。

一人ひとりには生きているだけで価値があるし、生命を大切にする世の中をつくるためにも政治の力が必要となっています。



草野心平記念文学館での柳田さん